令和6年度「食の安全に関するアンケート」 集計結果の活用状況

アンケートテーマの担当部署が、アンケート結果をどのように受け止めたのか、事業にどのように活用しているのかなど、集計結果の活用状況をご紹介します。

1 アンケート結果の事業等への活用状況

今回のアンケートの結果を参考に、今後も食品衛生や食品表示に関する知識の普及啓発を行っていきます。また、今後の横浜市食品衛生監視指導計画を作成する際の参考資料として活用します。

2 アンケートを実施した感想

Q14において、「食品表示の啓発物を見たことがある」と回答したのは約10%に留まりました。Q17において、どのような媒体等であれば、広告を知る機会になるかと質問したところ「スーパーマーケット等の販売店に掲示する」や、「横浜市のLINE」などといった様々な意見等があり、参考になりました。これらを踏まえ、今後の啓発方法を見直していきたいと思います。

Q18において、本市の食の安全に関する取組や啓発事業について伺ったところ、「同じようなことを通年伝え続けることになるが、一人でも多くの人に知らせる必要がある内容であるため今後も継続して取り組んでほしい。」との意見をいただきました。

今後も市民の皆さまに様々な媒体や機会を捉え、より効果的な食中毒予防情報の発信方法を検討していきます。

3 担当部署のeアンケートメンバーへのメッセージ

このたびは、アンケートにご協力いただきありがとうございました。
食の安全と食品表示に対する貴重なご意見を多数いただき、大変参考になりました。
市民の皆様の食の安全・安心を確保するため、今後も食品衛生業務に努めていきます。

担当：医療局食品衛生課

ヨコハマ e アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。